

## 学ぶ・つながる～公民館講座紹介～

### これからの地球の未来をみんなで考える

公民館ではコロナ禍でも学びを止めないよう、オンラインを活用して講座を実施しています。6月20日（日）にオンラインでSDGs講演会「そうだったんだSDGs ～地域と世界はつながっている～」を開催し、小学生の親子が一緒になって学び合いました。

講座では、最近テレビなどで耳にする『SDGs』について、誰も取り残さない社会を作るための世界的な目標だという話を講師から聞くと、「環境問題の言葉だと思っていたけれどこんなにいろんなことに関係しているとは思わなかった」と参加者から感想が寄せられました。



また、パンやポテトチップスなどの食品だけでなく、洗剤の原料にも使われているパーム油の問題を取り上げ、私たちが普段何気なく生活していることが、森林破壊や児童労働に知らず知らずのうちに加担させられている可能性があることを説明されると、参加者からはそんなことに影響を与えるなんて考えもしなかったと驚きの声があがり、私たちの日常の行動が世界とつながっていることを改めて理解しました。

講座の最後に、「動物たちが絶滅しない世界」「障害のある人もない人も共に暮らせるバリアフリーな世界」などそれぞれが実現したい世界を考え、そのために何をするかを発表しました。大人と子どもがこれからの地球について、お互いに考え、話し合う貴重な機会となりました。

問合せ 公民館課（もとまち） ☎（042）325-4221

### 東京2020大会と新型コロナウイルスとともに歩んだ3年間

もとまち公民館では、今年7月から行われた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で国際交流することをテーマに講座を実施しました。この講座は2019年にスタートしましたが、台風やコロナ禍における緊急事態宣言などの影響で延期を繰り返し、3年をかけて無事に終了することができました。

コロナ禍において対面での講座を安全に実施するため、飛沫飛散防止のためのアクリル板を設置するなど様々な対策をして実施しました。感染防止対策として置かれたアクリル板は、グループワークで出たアイデアを参加者同士で共有するためのツールとしても活用するなど、このような状況の中でいかに楽しんで講座に参加してもらえるかを工夫しながら講座を進めました。



＜アイデアをアクリル板に貼る参加者＞

講座ではオリンピック・パラリンピックの会場でお互いにピンバッジを交換しあう「ピントレーディング」の文化や方法を学び、国分寺をアピールするため講座オリジナルのピンバッジを講座参加者がアイデアを出し合って作りました。ピンバッジには、ペンシルロケットや新幹線、七重塔など国分寺の魅力が詰まったものができ上がりました。

その他にも、訪日する各国の方々との交流することを目標にスマホの多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」の使い方や「やさしい日本語」も学びましたが、残念ながら大会期間中の交流はできませんでした。

しかし、さまざまな障壁を乗り越える中で、講座の参加者たちにはつながりが生まれ、国際交流を実践するための活動をはじめました。

問合せ 公民館課（もとまち） ☎（042）325-4221

## 国分寺市の文化財

問合せ

ふるさと文化財課 ☎（042）300-0073

### 祥応寺（しょうおうじ）のコノテガシワ

○市重要天然記念物 ○本多四丁目

コノテガシワは、ヒノキ科の常緑（じょうりょく）針葉樹で、中国北西部が原産です。和名のコノテガシワ（兎の手柏）は、枝葉が直立している様子が、まるで子どもの手のひらを立てているように見えることに由来します。葉や果実は薬や線香の原料として利用されました。また生育がゆっくりとした木でもあります。中国では寺院などの聖域に植えられる木として知られています。

祥応寺のコノテガシワは江戸時代中期に本多新田が開発されたことに伴い、享保11（1726）年に国分寺村の黒鐘（尼寺跡北）にあった祥応寺を引寺（ひきでら）した際に移植したと伝えられており、樹齢は少なくとも300年に達すると考えられます。樹高は約12m、地表から高さ85cmの幹周りは2m55cmもあります。当初は本堂の左右に植えられていましたが、本堂に向かって左側の1本は枯れてしまい、現在は右側の1本だけになっています。昭和のはじめに枯れた木の根から地蔵尊が彫られ、地蔵堂に安置されています。

コノテガシワ（昭和三十三年）



コノテガシワ（令和三年）



## 武蔵国分寺跡資料館令和3年度秋季企画展

### 「国分寺市の神社と祭礼—時代と祭りの変遷—」

近世から近代における国分寺市内の各神社の変遷と、そこで行われる祭礼の歴史を紹介します。

- 期 間：令和3年10月16日（土）～12月5日（日）  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程等の変更や中止となる場合があります。
- 会 場：武蔵国分寺跡資料館講座室（おたかの道湧水園内）  
※入園料100円（中学生以下は無料）。また、身体障害者手帳等の提示により、同手帳保持者とその介護者1人の入園料を免除できます。
- 時 間：午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）
- 休館日：月曜日（祝・振替休日の場合は、その直後の平日）

問合せ ふるさと文化財課 ☎（042）300-0073

## 教育委員会の動き

令和3年6月から9月までの間に、定例会を4回開催しました。定例会や臨時会の議事録は、随時、市のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。（右上のQRコードからアクセスできます。）

### 議案を1件ご紹介します

＜令和4年度使用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について＞令和4年度から特別支援学級で使用する教科書を決定しました。



### その他の主な議案は以下のとおりです

- ・国分寺市立歴史公園条例の一部を改正する条例について
- ・国分寺市学校教職員ストレスチェック等実施規程の制定について

＜教育委員会定例会の開催日程（予定）（10月1日現在）＞  
10月21日（木）、11月25日（木）、12月23日（木）、1月27日（木）  
いずれも午前9時30分～

会場：ひかりプラザ2階203・204号室  
※日程・会場は変更になる場合があります。最新の情報は、市のホームページでご確認ください。（右のQRコードからアクセスできます。）  
※上記日程以外に、必要に応じて臨時会を開催することがあります。



※定例会の傍聴を希望される方は、当日直接会場までお越しください。申込みは不要です。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。最新の情報は市のホームページでご確認ください。

問合せ 教育総務課 ☎（042）574-4040